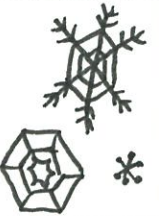


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします☺

2015年12月 第62号



『医師は職業ではなく、
生き方である』

江草氏が川崎氏に与るの
医師について言った一言。
とても熱いです!

『果てなく続く医療福祉の道:
川崎祐宣の思想に学ぶ』
江草安彦 289/K

今回のテーマは

『熱い一言』です。

寒さもふいとび!

そんな一言を
集めました!

『あだし、帰ってきたら
カミツレ返して、堂上教官に
好きて言いますから!』

もう言っちゃっているけど、
アツ〜い一言。

『図書館革命』
有川浩 9(3.6/A)-(4)

きいの
熱フレーズ

『かわいそうな子供に
優しくしたいって自己満足
にわたしたちが付き合わ
なきゃいけないの!?!』

じわじわと福祉の心が熱く
なります!

『明日の子供たち』
有川浩 9(3.6/A)

『きっともがいてる人間
にしか、幸せはないんだ』

夢を追うため地方から出ようか
悩む青年への一言。
心が熱くなりやる気がでます!

『しあわせのパン』
三島有紀子 9(3.6/M)

『人は時に、健気に
生きているだけで、誰
かを救っていることがある』

作品の内容と相まって心が
熱くなりますね。

『容疑者Xの献身』
東野圭吾 9(3.6/H)

笹那の
熱フレーズ



『千と千尋の
神隠し』
778.77/M-(8)

無人の街に迷い込んでしまいます。しかし、そこは八百
万の神々が住む人間が来ればいけない世界でした。そ
こから千尋が元の世界に戻るために数々の試練を乗り
越えていくお話です。

声優には神木隆之介さんや夏木マリさんなど豪華
声優が出演しています。最後には泣けるシーンもあり、主
題歌の「いつも何度か」は当時よく音楽番組で聞いたと
思います。

懐かしのジブリをどうぞ、ご覧ください。

<さとう>

宮崎駿ワールドへ

私が今回紹介するDVDは、
ジブリの宮崎駿製作の「千と千尋
の神隠し」です。見たことがある
人の方が多いと思いますが、何度見
ても面白い作品だと思います。
主人公の千尋が両親と共に
引越先へと向う途中、森の中
の奇妙なトンネルの先に広がる



『an·an』No.1979

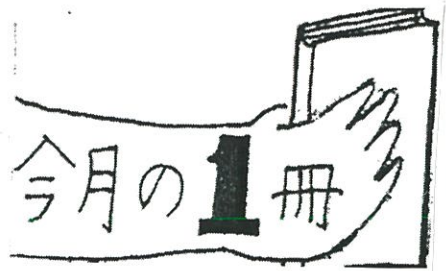
知っていますか? なんでも、笑いには美肌効果があり、他
にも女性にとって嬉しい効果が...! 詳しくは本誌30
頁で紹介されています!

笑うことが身体に良いことは分かったけど、最近、笑
えることがない、そんな方にオススメなのが、1990年代
から今年ブレイクしたお笑い芸人の一発ギャグコレクション
です! 懐かしさのあまり笑ってしまうこと間違いなし?!
他にも関ジャニ∞やピースの又吉直樹をはじめとした
お笑い芸人への「笑い」をそれぞれ語っています。

今年ももうすぐで終わってしまいますね。この雑誌を読
んで笑いのある年越しにしたいものですね。

<きい>

『黒い団練』 平金魚、913.6/T



どこがおかしい、狂った家庭へご招待

早いものでもう12月を迎えました。朝は暗くて寒いので中々布団から出られない人も多いのではないのでしょうか。もちろん私もその一人です。

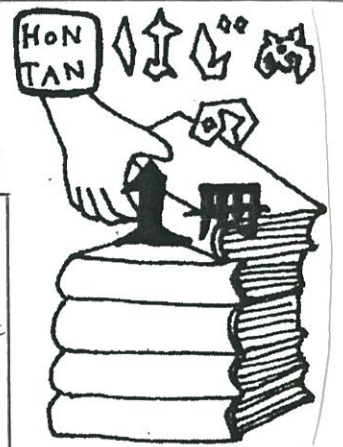
さて、そんな私が今月紹介する本は、『黒い団練』です。タイトルからわかるかもしれませんが、ホラー小説です。ホラー小説といえは、背筋が凍るようなゾッとする話を想像するかもしれませんが、本作は少し違います。まず本作は一つの物語を、章ごとに違う登場人物の視点から読み解いていきます。だから、はじめて読んだときは何が怖いのかと思ってしまうかもしれません…。しかし、一周読み終わったとき、ゾッとするというより薄気味悪く、背筋がぞわぞわとする感覚が味わえるでしょう。

次に本作の内容についてです。本作は“家庭内”ホラーを題材にしています。どこにでもある平穏な明るい家庭…というよくある設定ではなく、女遊びが好きな父とそんな父を何故か責めない母という生々しく暗い家庭を取り上げています。ただでさえ暗く問題がある家庭にも関わらず、ある“不幸”によってさらに日常が崩されていく様は、まさに救いようがないといったところでしょう。さてそんな家庭が迎える結末はどうなると思いますか？…もちろん答えをここに書くことはできません。気になる方は、ぜひ真相をご覧になってみてはいかがでしょうか。

<かなづち>

『果てしなく続く医療福祉の道：

川崎祐宣の思想に学ぶ』江草安彦 289K



医師は職業ではなく、生き方である

今回のHONTANフレーズでもご紹介した言葉です。江草安彦氏が川崎祐宣氏に於いての医師について言った言葉です。皆さんはどう受け取られたでしょうか。私は仕事というものを職業として見ていた部分があり、この言葉には考えさせられました。

この本は「医療」「福祉」「教育」を別の領域だからと専門外とするのではなく、それらをつ結びつけ患者のために生涯を尽くした川崎祐宣氏の物語を書いたものです。この本には、「医学は日進月歩、進歩している。現状維持は退歩である。」という言葉があります。これは他の仕事にもいえるのではないのでしょうか。常に進化は必要であると。

最後にもう一つ言葉をご紹介します。「人生には限りがある。だが、大きな目標を追い続ける限り、終わりはない。一日を丁寧に送りなさい。その結果は、期して待つべきだよ」川崎氏の言葉です。この言葉を読んで一人ひとり感じることは違うと思いますが、江草氏は「医師も職員も労働者には違いありません。けれど、人は誰かに支配されて働くのではない。自分が理想とする社会をつくるために働くのです」と川崎氏の言葉を踏まえて書いています。

この本自体、とても読みやすいので一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

<E I>

。。。学生展示。。。

今回の学生展示のテーマは「夜・星」です。タイトルに夜や星が入っていたり、重要なテーマだったりしている作品を集めてみました。なんだか繊細な雰囲気をもっている作品が多くなりました！

季節も冬に近づき、夜もだんだん長くなってきましたね。なんだか寝付けられないなんて日には、ぜひ小説を読んでみては？

ぜひ「夜・星」をテーマにした作品を読んで、作品のすてきな世界観に浸っててください！

<笹那・リゅう>

。。。帯展示。。。

みなさん、こんにちは。最近秋も深まり肌寒くなつて毎朝布団から抜け出すことに格闘している、レーです。笑

「寒いといえば、「冬」。「冬」といえば、「雪」。「雪」といえば、「白」。「白」といえば、「あぁ！前回は引き続き、帯の色の特集にしようかな？」。というわけで、この突然の連想に基づき、今回は「帯の色が白」の本に焦点を当て、選択してみました。気になる帯や本があれば、ぜひ手に取って読んでみてくださいね。

<しー>

